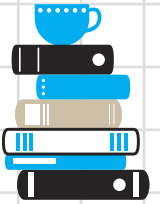


事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS.Sunny



○事業所名	COMPASS.Sunny		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日		～ 令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日		～ 令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 9月 11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当ごとに事業部内でグループを形成し、主体的に会議や勉強会を実施しております。 複数地域に事業所があるため、不明点は指定権者へ確認をおこない、法令に基づいた適正な事業所運営に努めております。	児童が安心して通いながら成長を感じられる事業所を目指し、ルールを遵守した運営に努めてまいります。
2	COMPASSでは、通所訓練において、児童一人ひとりの発達段階や特性を丁寧に把握し、それぞれに最も適した教材を工夫して個別対応をおこなっております。こうした取り組みによって、学習意欲の向上や集中力の定着、自己肯定感の育成につなげております。	保護者様のご意見を支援計画に反映しております。 ご家庭や児童の変化について定期的に情報共有をおこない、支援内容を柔軟に調整しております。 また、助言や提案をおこない、家庭での関わりが効果的となるよう努めております。 さらに、関係機関と連携し、多角的な支援をおこなっております。	児童発達支援計画は原則6か月ごとにモニタリングをおこなっております。 行動変化や反応を分析し、支援の効果と課題の把握に努めております。 必要に応じて支援内容の見直しをおこない、支援の最適化に努めてまいります。
3	当事業所では、職員間で定期的な情報共有と支援内容の振り返りをおこなっております。 その中で児童の変化を捉え、支援方法や教材などを柔軟に調整することを重視しております。	複数の専門職が連携し、児童の発達全体を見通した支援をおこなっております。 情報共有と支援計画の調整により、個々のニーズに応じた支援提供に努めております。	活動プログラムは固定化せず、状況に応じて見直しをおこなっております。 発達段階や特性に応じて活動内容等を調整し、効果的で持続可能な支援に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発達特性や興味に応じた多様な教材および教具を揃えることに一部課題がございます。 特に、特性の異なる複数の子どもたちに対して、すぐに対応できる教材・道具のバリエーションや数が限定的である状況です。 こうした状況を踏まえ、今後は教材等の選定・購入体制の強化、保有教材の見直しと共有、外部資源やデジタル教材の活用など、より多様性のある教材準備ができる体制の整備に努めてまいります。 これにより、児童一人ひとりによりきめ細かく応じた支援が可能となるよう改善を図っております。	有資格者による支援体制を整えておりますが、個別ニーズに対応するためには職員の専門性向上が必要と認識しております。 また、事務業務の負担があるため、業務効率化と支援時間の確保に努めてまいります。	空間的な対応が十分でない場合があるため、環境面の工夫やゾーニングの見直しに努めてまいります。
2	児童一人ひとりの特性に応じた支援を提供することを大切にしておりますが、現時点では職員間の支援スキルや対応力に差があり、支援の質にばらつきが見られる場合がございます。 特に、発達障がいや情緒的な不安定さを抱える児童への対応において、より専門性の高い支援が求められていると認識しております。	送迎時中心の情報共有では十分な聞き取りが難しい場合があると認識しております。 保護者様への配慮や相談体制についても更なる工夫が必要と考えております。 今後は面談やICTツール等を活用し、情報共有の充実にも努めてまいります。	支援の質の均一化に向け、職員間の知識共有や研修、マニュアル整備に努めてまいります。
3	保護者様との情報共有においては、日々の送迎時を中心にコミュニケーションを図っておりますが、現状ではその短時間のやり取りに依存している部分が大きく、十分な聞き取りや丁寧な情報のやり取りが難しい状況も見受けられます。 特に、家庭内での児童の様子や保護者様が抱えるお悩み、日常の困りごとなど、事業所だけでは把握しきれない重要な情報があることを踏まえると、支援内容への反映が不十分となる可能性がある点は課題と認識しております。	送迎時の短時間のやり取りに依存しているため、十分な情報共有が難しい状況があると認識しております。	連絡帳やICTツールを活用し、双方向の情報共有体制の強化に努めてまいります。 また、業務効率化や役割分担の見直しを進め、支援の質向上に努めてまいります。

